旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年５月１７日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌５０５「恵みある主」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美		一　同
教会学校		
讃　　美	聖歌420「あなたの持てる悩みは」	一　同
聖書朗読	エレミヤ39:15-18	
奨　　励	エレミヤ書の福音(第39回)	牧　師
主　　題	**「命運を分けるもの」**	
讃　　美	聖歌３３６「いかに恐るべき」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌３７６「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	エレミヤ書第 40 章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
５/17(日)聖日礼拝
/18(月)
/19(火)
/20(水)
/21(木)
/22(金)
/23(土)

《祈りの課題》
①コロナ禍収束のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③主が教会学校の子供たちもお送り下さいますように

良書ハイライト

「人のピンチは神のチャンス」
（ささきみつお弁護士の「凡る問題はプラスになる」より）

中国の武漢から始まり世界中を震撼させている新型コロナウィルスの猛威は依然として衰えを見せない。日本も例外ではなく、今年最大のイベントであるオリンピックが延期されたり、政治、経済、教育、文化その他のあらゆる分野に影響が及び、国民の日常生活にも大きく支障をきたしている。政府の緊急事態宣言により、規制の範囲はさらに拡大している。そんな中で、多くの人たちは恐れと不安におののき、将来の生活に希望を失っている。

キリスト教会もまた甚大な影響を受けている。集会自粛によって礼拝や集まりの中止を余儀なくされた教会がほとんどであるが、日曜礼拝を主たる柱とする教会にとって、これは最大のピンチである。しかし、天の父を神として信じる者は、すべてを支配しておられるお方を信頼して平安をもって事態に対処することができる。そればかりでなく、主はこの悲惨な事態をも真の意味において益にしてくださることを信じることが出来る。

「目に見えない小さなウィルスの蔓延で世界が混沌としてしまうほど、本当はこの世の中はまったく脆弱なのだ！」ということに人々は気づきはじめ、「真に頼ることができるものは何なのか？」と模索しているはずである。神の目から見れば、今こそ、永遠に揺らぐことのない万物の創造主・父なる神の存在を知り、救い主である御子イエス・キリストを伝える絶好のチャンスなのである。

このピンチにあって、急きょ、オンライン礼拝を始めたり、それを充実させたりする教会が増えている。従来はオンライン礼拝は出席できない方々に対する補助的なものでしかなかったが、すべての信徒に対して内容においても技術においても、より優れた番組として製作して配信せざるを得なくなった。YouTube 等を利用すれば、特定の教会の信徒だけでなく、世界中の誰もが視聴できるのであるから、毎回の礼拝メッセージを通して世界宣教をしていることになる。番組製作には若い信徒の協力が不可欠であり、それは教会内における若者の役割の重要性と彼らのモチベーションを格段に高めている。

「日本最高齢ユーチューバー『93歳ルンルンおじいチャンネル』登場！」と「週刊ポスト」誌でも紹介されたが、93歳の尾山令仁牧師が YouTube で福音を語り始めて好評を博している。尾山牧師は話をするだけで、話題決定、場面設定、撮影、音響、BGM、字幕テロップ挿入等の収録、編集、配信のすべてを、若手クリスチャンが協力して製作している。高齢の牧師でなければ語れない、ざっくばらんな日常生活等にからめた福音の話は、視聴者の誰にとっても非常に分かりやすく興味深い。

在宅のオンライン教育、ワークが増大しつつある現在、オンライン礼拝、伝道の重要性は加速度的に増大している。神の手によって、新型コロナウィルスの猛威が、日本と世界の福音宣教の拡大とリバイバルの強力な原動力になっていくのに違いない。

「福音のために、わたしはどんな事でもする」（Ⅰコリント9:23）